

金融市場NOW

イタリアを巡る最近の市場動向

国債格下げリスクは低下したものの、イタリア政府と欧州委員会の対立は続く

- ▶ イタリア政府は2019年度の財政赤字目標を対GDP比2.4%とする予算案を策定。
- ▶ イタリア政府が策定した予算案に対して欧州委員会は差し戻し、3週間以内の再提出を要求。
- ▶ イタリア国債が投資不適格* になる可能性は後退。

* 格付け会社の格付けで「BB」格 (Moody'sの表記は「Ba」) 以下の格付けが付与されること。現在のイタリアの格付けは「BBB」(Baa) 格。

11月に入り、金融市場を取り巻く環境は、米中貿易摩擦、サウジアラビア人記者殺害事件、米国の企業業績悪化懸念、イギリスのEU (欧州連合) 離脱問題等、不確定要素が多くなっています。先日のECB (欧州中央銀行) 理事会後のドラギ総裁の記者会見でも質問が出たように、イタリアの2019年度予算問題も市場を不安定にさせる要因の一つとなっています。

○ 予算案を巡る混乱

イタリア政府は2019年度の財政赤字目標を対GDP比2.4%とする予算案を策定しましたが、公的債務水準がEU (欧州連合) の財政規律に沿って減少しない等の理由で欧州委員会はその予算案を差し戻し、11月13日までに再提出するように要請しています。しかしながら、イタリア政府高官の発言からは、財政赤字目標が引き下げられる可能性は低いものと見られます。イタリア政府が変更要請を拒んだ場合、最終的には、欧州委員会は最大でGDP比0.5%までの罰金を科すなどの制裁に向けた手続きに着手することになります。これまで欧州委員会が各国政府に対して制裁を科したことはなく、制裁が科された場合、市場は大きく混乱する可能性があります。

○ イタリア国債の格付け

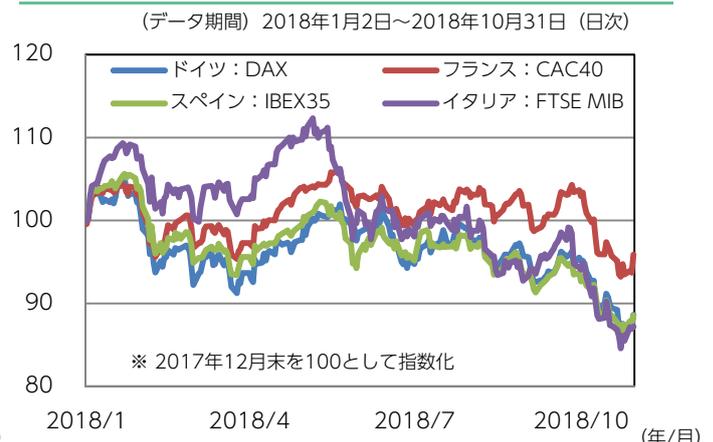
市場ではイタリア国債が投資不適格になるのではないかと懸念から、大きく売り込まれる展開となっていました (金利は上昇)。10月19日にMoody'sによる格下げ (Baa2⇒Baa3。見通しは安定的)、10月26日にS&Pによる見通しの変更 (格付けはBBBで変わらず。見通しは安定的⇒ネガティブ (1、2年の間に格下げされる可能性がある)) が行われましたが、イタリア国債がすぐに投資不適格になることはない判断され、市場には安心感が漂い、買戻しが入る結果となりました (金利は低下)。

現時点ではイタリア国債が投資不適格になる可能性が遠のいたため、市場は一旦落ち着きを取り戻していますが、イタリアの予算案に関する問題はまだ解決しておらず、イタリア政府と欧州委員会の対立は当面続くものと見られ、引き続き注意が必要と考えています。

図表1：10年国債金利の推移



図表2：株価指数の推移



出所) 図表1・2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>